

教職員・院生版生協だより

No. 269

2007 年 1・2 月号

発行 名大生協理事会

編集 名大生協教職員委員会

☎ 学内線 7540, 学外線 781-1111

かけはし



第 19 回音としゃべりの金曜サロン
ミュージックベルの調べ
「M.B.club コンサート」
12 月 1 日

中山道ハイキング →
～大湫宿から大井宿へ～
11 月 3 日



名大生協のホームページ (URL) <http://www.nucoop.jp/>
教職員委員会への e-mail あて先 kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

も く じ

新年を迎えて〈福家俊朗名古屋大学生協理事長〉	3
------------------------	---

【企画案内】

名古屋大学平和憲章制定 20 周年記念企画	
映画「男たちの大和」上映会	4
学生九条の会・映画「マリーンズ・ゴーホーム」自主上映会	4
初心・初級スキー教室&スキーツアーのご案内	5
ミステリー酒蔵見学ツアー	5

【報告】

驚きの連続「M.B.club コンサート」	6
中山道ハイキング～大湫宿から大井宿へ～	8
『うたごえ喫茶』in IB Cafe によろこそ	10
組合員還元・交流企画報告	11
6 大学 30 名の参加で教職員委員会活動交流会が開催	12
12 月度理事会報告	13
13 大学生協教職員理事が県大に集う	14
教職員委員会の活動日誌	9

【記事】

新フィールドノート-その 98 -	
「ヤングードリアス期」	15
魔言「スポーツクラブと時間の拘束」「お茶する」「おさがせ しました」「高齢者を尊敬する社会」	16
ニュースに一喝！	
「災害までも食べ物に」「何時起こるかわからない」「地名」 「点字ブロックの上に物を置くな」	18
かけはしの輪	20
アンケート・クイズ解答用紙	22
CO-OP QUIZ < Logic >	23
名古屋大学平和憲章	裏表紙

新年を迎えて

名古屋大学生協理事長 福家 俊朗



組合員の皆さん、明けましておめでとうございます。

二年続けて、年頭の挨拶の中で生協のあり方に影響する大学内外の動きに言及しました。名大も含めた大学生協のあり方、ひいては、協同組合の存在理由が問われようとしているからです。そのことにかかわって、昨年、学内に「コンビ二」が設置されました。高等教育機関としての大学の固有の「規律」が少なくとも当面は働いているために、生協が担いにくい限り

での特化したコンビ二機能が好評のようです。この「規律」を安易に緩和したり放棄して、無責任な事態が生じないことを願うばかりです。しかし、杞憂であることを願うだけで済まされない問題が顕在化してきました。

その一例ですが、私企業またはその論理を導入する可否かについての決定のあり方を含めた大学運営に、最も影響を受ける大学構成員のみなさんが自らの意見を十分に反映させることを半ば放棄している（放棄させられていく）ようにみえることです。とりわけ、大学構成員および生協組合員の圧倒的多数を占めている学生・院生のみなさんの、学修や研究に不可欠な福利厚生（施設）の改善や充実についで切実で正当な要求に、生協が誠実に応じようと思えばするほど、そうなるように思えます。

す。

たとえば、多くの学生・院生や教職員の協同の輪を確かなものにする利用結集と生協で働く職員等の協力によつて捻出した積立金（施設改善準備金）を組合員に還元する方法として、福利厚生施設の充実（直近の例ではフロンテの改築とフォレストの改修）のための大学への寄付をこれまで続けてきました。むしろ、名大生協が組合員の総意（総代会や理事会）に基づいて、組合員のために必要不可欠なサービスの提供に必要な設備をはじめとする環境整備を行うことは当然のことです。同時に、このことと、大学自身がその構成員に対して負う福利厚生施設の整備責任とが、重畳することが多いことを意味しているでしょう。

その意味から、これらの整備についての諸要求を、組合員

として生協に対して行うと同時に、大学構成員として大学に対しても正しく行う必要があります。大学自身の固有の課題としても、企画立案、財務、施設整備・管理の縦割りではなく、総合調整機能のいっそうの發揮とその透明性の向上が大いに期待されるゆえんです。また、大学と生協が、言葉の正しい意味において協力し、学内の福利厚生水準の向上への協同責任を果たす上でも、権利者であり受益者である学生・院生や教職員のみなさんがむしろその責任のあり方について積極的に発言したり、場合によっては決定する主体でなければなりません。

組合員のみなさんの「協同」へのいっそうの理解と大学運営への民主的参加要求によつて、大学と生協の「正しい関係」が築かれることを願いつつ、年頭の挨拶といたします。

名古屋大学平和憲章制定 20 周年記念企画

映画 「男たちの大和」 上映会

日時: 2 月 5 日 (月) 18:00 ~

場所: 理学部 C 5 講義室

参加費: 無料

戦艦大和の乗組員であった神尾は、大和が沈没したところまで向かう。60 年前の戦争を思い起こしながら。

この作品はまだ 20 歳にも満たない特別年少兵の悲しい青春群像がつづられていく。そして若者たちを乗せた大和は大切なものを守るために「決戦の海」に向かった。

痛烈な軍隊批判も見られる「男たちの大和」を観て現在と比較しながら明日への希望を語りましょう。

企画: 名大生協教職員委員会
共催: 名古屋大学平和憲章委員会



広 告

学生九条の会主催

「マリーンズ・ゴーホーム」 自主上映会

この映画は、沖縄・辺野古（海上基地建設阻止行動を続ける人々）、韓国・梅香里（米空軍の爆撃演習に反対する住民）、北海道・矢白別（陸上自衛隊演習場の真ん中に 40 年間住み続ける農民）の各地で米軍基地に反対する人々の闘いを写したドキュメンタリーで、名古屋では昨年 7 月にシネマトークで上映されました。

現在、あちこちの大学で自主上映運動が進められています。まだ、観てない方は是非この機会に見に来てください。

日時: 1 月 18 日 (木) 18:30 ~

場所: 教育学部大講義室

後援: 名大九条の会

初心・初級スキー教室 & スキーツアーのご案内

スキーをはじめたい人、お子さんにスキーを教えたい人、友達と楽しくスキーをしたい人大集合。親切丁寧なコーチ陣があなたを手とり足とり教えます。

日 程：2007年2月9日（金）夜発～12日（月）

行 き 先：岐阜県郡上市高鷲町のスキー場

集合場所：名古屋大学博物館前

集合時間：22時30分

参 加 費：18,000円（3泊5食付き）

8,000円（小学生）

レンタル：板、靴、ウェアは実費

定 員：10名程度

宿 泊：貸別荘（食事は自炊します）

問い合わせは：kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

参加申込は：<http://kyoshoku@coop.nagoya-u.ac.jp/application.html>



ミステリー酒蔵見学ツアー

三重県のとある酒蔵を見学に行きます。どこに行くかは全くのミステリーです。そんな不確かなツアーにあなたも参加してみませんか。酒蔵では醸造の見学、懇談、試飲を予定しています。

日程：2月24日（土）

集合時間：9時30分集合・出発

集合場所：名古屋大学博物館前

参加費用：2000円（昼食付き）

定 員：10名程度

問い合わせは：kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp

参加申込は：<http://kyoshoku@coop.nagoya-u.ac.jp/application.html>



第19回音としやべりの金曜サロン報告

驚きの連続

「M.B.club「ンサート」

12月1日(金)18時からフレンドリー南部食堂ホールにて第19回音としやべりの金曜サロンが開催された。



今回の金曜サロン「ミュージックベルの調べ M.B.club コンサート」は、まさに驚きの連続であった。

演奏が始まるやいなや、スレンドーな女性4名が大きく身体を動かして音を出す「演奏スタイル」と、華麗に響く音楽とめまぐるしい手さばきのミスマツチに、たいへん驚かされた。

よく似た楽器である「ハンドベル」は2この大きさの異なる「鐘」を持つ指揮者の指示に従って振り鳴らす、クリスマスコンサートでおなじみのものである。名古屋は金城学院のハンドベルが有名だ。しかし、今回の「ミュージックベル」という楽器は見るのも聞くのも始めてである。

プログラムの中に「ミュージックベル」についての説明や試し打ちの時間があつて、手にとつて見る事ができた。演奏のはじめの頃に取手の付いた小さな金属製のベルだが、中を見るとパネで玉が懸垂されていて

る。闇雲に振つても二度打ちして音が狙ったタイミングで出ないのだ。

ミュージックベルの本体を見ると、音程が違うにもかかわらず大きさは同じ。微妙な形状の違いによって音程を変えているという。確かにベルの円錐部分の絞りのスロープやエッジの高さなどが違っている。取手の端面には音程が記号で書いてある。27個1セットで5万2千円とのこと。最初は子どもの玩具として開発されたそうだが、お母さんたちが音色の美しさに惹かれて演奏方法を改良され、専門的に演奏する団体「M.B.club」まで結成、海外遠征もして、ミュージックベルの普及活動にも尽力されているとのこと。

さて、話しを演奏会に戻そう。彼女たちのプログラムは実に多彩であった。ポピュラーからクラシック、ジャズの名曲を連ねたプログラムには、「ミュージックベル」の素朴な響きや余韻を生かしたスローテンポのものから、超絶技巧という言葉がピッタリ当てはまる曲目「熊蜂の飛行」(R・コルサコフ)や「剣の舞」(ハチャトリヤン)「トルコ行進曲」(モーツァルト)まで、

「ミュージックベル」による音楽表現の可能性を模索している団体らしい、多様性と実験的指向性に満ちていた。

16分音符、32分音符では正確なリズムを刻むことの困難性が内在し、実にスリリングな演奏になる。これも大きな魅力の一つだと思う。みながよく知っている早いパッセージを独特のボディーアクションによって鳴らしきる姿は、見ている方も身体が動くほど興奮を促す。

最初は大げさに見えるアクションも、決してダイナミックレンジが大きい楽器を大きな振り付けで大きく聞かせる技術だとわかると、決して大げさではなく、必然であると得心する。

私は忙しくてなかなか音楽を聴く時間をもてず、音楽欠乏症による少々の「油ぎれ感」を覚えていたが、ミュージックベルの耳に残る爽快な響きは、粘性の軽い油のように隅々まで広がり、潤してくれた。

内田洋行「ミュージックベルの部屋」<http://school.uchi-da.co.jp/musicbell/index.html>

MBclub コンサートの感想

(14人分)

企画を何で知りましたか

知人・友人(8)、メール・メルマガ(6)、かけはし(3)、ピラ・ポスター(1)、家族(1)

参加の動機は

友人の誘い(6)、金サロ愛好家(4)、ミュージックベル(3)、家族の誘い(1)

コンサートについて

よかった(14)

ひとこと

○感動しました。とっても楽しめました。(小崎和子)

○ハンドベルとは違った珍しい演奏でした。静かな曲もにぎやかな曲もとてもすばらしい音色でした。(松原妙子)

○ハンドベルは金城学院大学のコンサートで聞いたことはありましたが、ミュージックベルは始めて聞きました。とても親しみやすかったです。(近藤延代)

○はじめて聞きましたがすごく良かったです。集まった人が少なくてもったいなかったです。もっと多くの人が参加されるよう次回からもっと宣伝をしてください。(メイ)

○はじめてミュージックベルを

聞いたのですが音域の幅が広いーと思いました。またどこかで聞きたくなりました。

○はじめて聞きましたがとても楽しく、暖かい雰囲気です敵でした。(竹谷友子)

○とても美しい音色でした。これは絶対まねできないーと思いました。一人でやっても16分音符は一定間隔になりませんから、弱起が遅れます。比較的弱い打ちの時のやわらかい響きが好きです。(菜の花)

○軽快なパフォーマンスに心地よい音色。幸せな気持ちになりました。「見上げてごらん夜の星を」は思わず涙ぐみました。ありがとうございます。(M2)

○4人の美技がすばらしい。病気等で一人欠けたときの対応はどうしているのかな？一曲でも良いからやさしく、静かな演奏もあっても良いのでは。(佐々木敏幸)

○4人の輪が揃った演奏がとても聞く人を引きつけたと思う。演奏者はとてもスマートな方なのでダイエットにも効果があるのか知りたいところである。

○活躍を！

○やさしい音色で癒されました。ありがとうございます。(戸床)

料理について

大変美味(3)

○おいしかったです、ワインにあう料理ではなかったかも。(竹谷友子)

○ごはんがおいしかったです。コーヒーがあるととてもよかったです。(小崎和子)

○モロッコの赤ワインおいしかったです。河合さんありがとうございます。(松原妙子)

よい(8)

○ひじきご飯がとてもおいしかったです。(M2)

○こんなものでしょう。これです。(M2)

○ごはんがあなたかくておいしかったです。コーヒーがあるとなおよかったです。(近藤)

○ひじきご飯がおいしかったです。ワインもおいしかったです。普通(3)

○おいしかったです！(戸床)

○揚げ物は油が廻って口の中に残るのが残念。汁物があるとよかったです。

次回の希望

ジャズ(5)、ボーカル(3)、OH! 人生男性合唱団、心が安まる

音楽・楽しい音楽)、クラシック(2)、その他(2)

金サロ&委員会への一言

○いつもありがとうございます。(佐々木敏幸)

○いつもお世話ありがとうございます。(戸床)

○これからも続けてください。

○お疲れさまです。こんな良い企画にもっとたくさんの方の参加があるといいのにと残念に思います。ありがとうございます。(M2)

○いつも楽しい企画ありがとうございます。(竹谷友子)

○毎年会費が3000円でしたが、今年はいつもの半額で、とても安く申し訳ないくらいでした。

○久々に金曜サロンにきました。この雰囲気が好きです。また来年も楽しみにしています。

○企画されるのは大変なことだと思います。次の企画も楽しみにしています。

○お疲れさまでした。ごちそうさまでした。(菜の花)

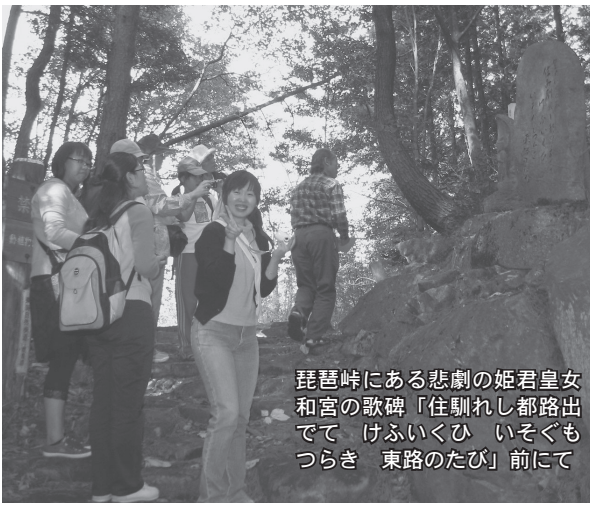
○宣伝を食堂やら、いろんな所にピラを貼るなどしてみて下さい。もう少しふえると嬉しいです。(メイ)

中山道ハイキング・11月3日（祝） 大湫宿から大井宿へ

恒例となった「文化の日（11月3日）」のハイキング、今年
は中山道を大湫宿（瑞浪市）から
大井宿（恵那市）までの約
12kmを歩きました。

中山道は、徳川家康が制定した5街道の一つで、東海道と
らんで京都と江戸を結ぶ重要な
街道でした。中山道は別名「姫
街道」とも呼ばれたように女性
の旅人が多かったといえます。

琵琶峠にある悲劇の姫君皇女
和宮の歌碑「住馴れし都路出
でて けふいくひ いそぐも
つらき 東路のたび」前にて



江戸時代末期、皇女和宮が京から江戸へ向かった輿入れの行列もその一つでした。

この日歩いた大湫宿と大井宿の区間は「街道が隆盛をきわめた江戸時代、急な坂道の登降を繰り返す」「十三の峠に七つのおまけ」といわれ中山道の中でも難所の一つだった。その大半が東海自然歩道に組み込まれ、野に帰すことなくよみがえった」（与呉日出夫著「ウオーキング」）歩きやすい行程です。

9時に名大に集合し、9時10分に出発。この日は行楽シーズンで渋滞のため、予定より1時間遅れ11時に瑞浪市大湫に到着。予定より1時間遅れての歩き始めとなりました。

まず、きょうのゴールとは反対方向である西へ、大湫宿から細久手宿につながる琵琶峠まで歩きました。この道は江戸時代の石畳が整備されていて、気分は江戸時代で、琵琶峠まで往復しました。

そこから再び大湫宿に戻り、

高札場、神明神社の杉の大木、本陣跡を見て大井宿を目指しました。この辺りは中山道でも馬籠・妻籠と違って観光地化されていないルートで、道中の人通りも少なめ。それでも行楽シーズンと

好天候に恵まれ、ときおりハイカーとすれ違います。

権現山の一里塚を通り深萱立場跡で遅めの昼食を摂りました。車で皆川さんが先回りし、ここで豚汁を作って参加者に振る舞ってくれました。

昼食後、紅坂の一里塚、横が根一里塚を通り大井宿の入口で西行の碓氷まで歩きました。当初の予定では、恵那市街にある大井宿まで行くつもりでしたが、出発の遅れがひびき、ここをこの日のゴールとしました。

道中の石畳、馬頭観音、常夜灯、道標などところどころに江戸の面影を見つながらのハイ



深萱立場跡の案内板前にて
豚汁を囲んでの昼食

キングは心地よい達成感がありました。

ここからは美術館鑑賞組と温泉入浴組の二手に分かれ、美術館鑑賞組は恵那市駅前（の広重美術館で、北斎と広重の版画を鑑賞し、5色刷版画の体験をしました。温泉組も入浴を終え恵那駅で合流。恵那インターから一路名古屋に向かうも、渋滞により、名古屋大学への到着は20時、参加者は9人でした。

名大生協教職員委員会では、来年は恵那市（大井宿）から中津川市（中津川宿）を、再来年は、中津川宿から馬籠・妻籠宿をめざして歩く予定です。

中山道ハイキングの感想

絵のような風景を楽しめた

今回の活動に参加することが出来て本当によかったです。琵琶峠から西行硯水の間の道は景色がきれいで、カメラのシャッターを押せば、絵のような風景が収められるので、撮影でかなり楽しめました。もちろん、歩きながらのおしゃべりも楽しいし、道端にある昔の遺跡を説明してくれる方がいらつしやったので、昔の人々はこのようにして移動するのだ、と想像しながら歩くことも出来たので、とてもいい体験でした。天気もよかったので、とても気持ちよく歩きました。

ハイキングコースが終わったあとは温泉です。さすがに運動したあとの温泉はすごく気持ちよかったです。露天風呂のところで関西から来たおばさんたちと遭遇して、短かったけど楽しい会話が出来ました。このような温泉でのふれあいも、日本文化の一つだろうと思いつつ、ほのぼのな気持ちになつて温泉を出ました。

今回の活動で心も体も癒されたので、もし今度このような機会があつたら是非また参加させ

(てもらいたいと思いました(揚))

大自然に接して満足

四月の東谷山散策に参加し、留学生である我々がなかなか体験できないツアーをいっぱい体験し、いい思い出作つたので、今回もまた参加させていただきました。今回は中山道の散策でした。途中、江戸時代の掲示板も見えてまるでその時代に戻つたようでした。たくさん歩いていたら登りにくい路線ではないのでとても気軽なハイキングで一日中楽しかったです。歩いていくところ、職員の皆さんも私たち留学生に色々説明してくれて体にも、頭にも充実していました。3、4時間も歩いていて気持ちよかったです。ハイキング後の予定は温泉か美術館に一つの予定を選んで、どちらにもしたかったが、やはり汗をかいだったので、温泉にしました。すごく気持ちよかったです。こういう大自然に接できるツアーが大好きで、もしまたあつたら今度にも参加させていただきたいです。最高で楽しかったです。ありがとうございます！！

(呉)

教職員委員会活動日誌 (2006年11・12月)

月 日	事 項	場 所
11月3日(金)	中山道ハイキング～大湫宿から大井宿へ～	岐阜県瑞浪市→恵那市
6日(月)	11月度常任理事会	ゆ～どん
13日(月)	11月度第1回教職員委員会	I Bカフェ
17日(金)	平和憲章委員会	名大職組書記局
18～19日	教職員委員会活動交流会	東大駒場キャンパス
20日(月)	11月度理事会	フレンドリィ南部
21日(火)	うたごえ喫茶	I Bカフェ
24日(金)	11月度第2回教職員委員会	I Bカフェ
12月1日(金)	第19回音としゃべりの金曜サロン 「M.B.Club コンサート」	フレンドリィ南部
2日(月)	東海地域センター教職員セミナー	愛知県立大学
4日(金)	12月度常任理事会	ゆ～どん
5～7日	冬の組合員交流企画 5日「愛の献血助け合い活動」 映画「ダ・ヴィンチ・コード」上映会	VBL 駐車場 ゆ～どん
	6日映画「ダ・ヴィンチ・コード」上映会	カフェフロンテ
	7日赤ちょうちん	ゆ～どん
9日(土)	東海地域センター理事会&総会	東海会館
11日(月)	12月度理事会	フレンドリィ南部
13日(水)	第12回名古屋大学大学・生協懇談会	グリーンサロン東山
15日(金)	平和憲章委員会	名大職組書記局
18日(月)	12月度第1回教職員委員会	I Bカフェ
27日(水)	教職員委員会忘年会	韓楽街(新栄)

「うたごえ喫茶」

in IB Cafe by ひろそ

11月21日夕刻、IB Cafeにて「うたごえ喫茶」を開催しました。参加者は20名程度で少なかったのですが、久しぶりの「うたごえ喫茶」に、しばし時間を忘れ、なつかしいあの歌、最近よく歌われているこの歌など、目一杯歌うことができました。参加してくれた皆様に、そして企画・協力してくれたみなさま、ありがとうございました。

そして、忙しいところを私たちの「うたごえ喫茶」のためにアコーディオンを担いできてくれた「愛知うたごえ協議会」加藤美さんに、大いに感謝します。アコーディオンがなければ「うたごえ喫茶」にあらず!!というぐらいで、アコーディオン伴奏がはじまると自然に声が出てしまいますね。これからも伴奏を引き受けます!との心強いエールをいただきました。

かつて・・・30年以上前・・・「四季のうたごえ」という名称で、農学部職員談話室を会場にして、年に4回（春、夏、秋、冬）

うたごえ喫茶を開催していましたが、途絶えてから25年以上?経過しました。その間、各学部にあった職員の合唱サークルはなくなつて、名古屋大学職員合唱団だけが細々と活動を続けているという状況です。今日の超多忙な職場環境を考えると、何か実施するにも以前の様な緻密な準備や企画はともできそうにないのですが、今回は生協教職員委員会の強力なバックアップで実施することができました。

歌集は全曲楽譜入りでと思つていたのですが、どうしても間に合わないものがあるて、一部歌詞のみになつてしまいました。また、みんなで合唱するには不向きな楽譜もあったので、この辺は次に開催するときには直したいと思います。

PAを使わずに進行したので、アコーディオンに比べてギターやキーボードの音が小さかったため、次回からはPA&マイクを入れて、伴奏やリード

の音量を補強したいと思います。

職員合唱団は、少々背伸びをして、3ステージ9曲を歌いました。中には???という出来のものもありましたが、初めてお披露目の曲目もいくつかあり、演奏のよい機会となりました。

私（司会進行の河合）は午後6時頃から始めて8時過ぎまで、歌いつばなし：：という強行スケジュールでしたが、目一杯歌った爽快感は久しぶりです。

表を通りかかった高校生（付属学校）2名の参加はありがたいものでした。やっぱり若い人が混じると私たちも元気が出るので、学生向けの価格も設定して、若い人も一緒に歌える企画になると良いと思いました。

今回は職員合唱団として手探りで実施しましたが、なんとかやれそうな感じを掴めたので、今後定期的に実施しようとして話合っているところです。合唱団の演奏曲目はもう少し減らして、みなさんと合唱を楽しむ時間を多く取り、参加者の飛び入

IBカフェが楽しいうたごえ喫茶に



り独唱コーナーなど、楽しめる企画を考えています。

みなさん、次回「うたごえ喫茶 in IB Cafe」でお会いしましょう。そして、なつかしい歌、新しい歌などをいっしょに楽しく歌いましょう!（名古屋大学職員合唱団 団長 河合利秀）

組合員還元・交流企画報告

愛の助け合い献血活動

今年の献血は日赤との連絡の不手際から12月5日だけの実施となりました。午前中は風もなく良い天候でしたが、受付18名と少なめでした。午後(14時30分～16時)は26名と時間帯の割には多くの協力がありました。受付数は44名ですが、実際に献血に協力いただいた方は30名でした。400mlが25名、200mlが5名でした。薬の服用など献血できない方が14名と多くなっていました。海外渡航の関係で献血できない方も3名いました。

映画「ダヴィンチ・コード」上映会

12月5日ゆ～どん、参加者25人、投影の角度が低く字幕が前の人の影となり見づらかったようです。出口側の通路の照明がスクリーンにかかっていたり、洗浄機とその作業の音が気になりました。

12月6日カフェフロンテ、参加者21人、書籍部が営業中でもあり照明を全て落とすことはできませんでしたので参加者の感想に苦情があるかと思われましたが、その点での苦情はなく

安心しました。カフェフロンテの営業中での上映だったので上映前に参加者の利用はありましたが上映が始まってから閉店までほとんど利用が得られず上映方法に工夫が必要かもしれません。

赤ちゃん

12月7日ゆ～どんにて、恒例の赤ちゃんを開催。20人程の参加でした。宣伝不足で参加者を増やすことはできませんでしたが常連の教職員の方々が参加され楽しいひとときを過ごすことができました。20930円の利用があり、収益の4430円はユニセフに募金いたしました。

Fエース産直リンゴは25箱販売

めいきん生協と産消提携している長野県下伊那郡松川町の省農薬Fエースリンゴは今年も好評で、少し傷のあるB級品ですが25箱を販売し、販売利益1万円をユニセフに募金いたしました。

映画「ダヴィンチ・コード」の感想(40人分)

(1) 企画をなんで知りましたか

ピラ(24)、知人友人(7)、ポスター(6)、かけはし(5)、その他(1)、

(2) 参加の動機は

作品に惹かれて(25)、映画好き(9)、友人の誘い(3)、その他(3)

(3) 作品について

○原作は読んで知っていたのですが、映像で見られるとまた感じが違ってよかったです。特に。美術作品や街並みが魅力的でした。

○原作の質が映画に反映しきれなかったように思います。

○難しかった。最後まで楽しめました。(タカホコリカ)

(OGAWA)

○謎を解いていくのについていけませんでした。(コバヤシ)

○原作を以前読んでぜひ観たいと思っていただけタイミングを逃し見損ねてしまっていました。今回運良くこの作品が、しかも無料で見ることができ非常にうれしいです。(MO)

○どこかの批判で「キリスト教徒には受け入れられない内容」とあったのですが、たしかに納得という感じです。映画としては単調になりそう

内容ながら、ハリウッドっぽいお決まりの演出がおさえて、よかったと思います。

○本と少し違うが楽しくみれた。宗教と芸術が合わさっていてもいいし・・・。(大西里沙)

○興味深く視聴しました。取り扱う題材は、現代社会の「常識」を揺るがす内容にも触れるものでありながら、サスペンスとしても楽しめる良い映画であったと思います。

(4) 次回みたい作品

○デスノート前・後編(3)

○パイレーツ・オブ・カリビアン(2)

(5) 教職員委員会に一言

○前の人の席を低くする等の工夫が欲しかった。字幕が下の、前に座っている人の頭で字幕が後ろの方には見にくかったです。(Yukikoro)

○後ろだと字幕が見えにくいから日本語にしてほしい。

○座席配置にも少し配慮があるといい。または、スクリーン位置を高く。

○これからもどんどんいろんな作品をやってほしい。

6 大学30名の参加で2006年 教職員委員会活動交流会が開催

11月18日(土)東京大学駒場キャンパスコミュニケーション・プラザにおいて2006年教職員委員会活動交流会が開催された。この交流会は2003年に京都大学生協と名古屋大学生協の両教職員委員会が交流を



「カフェテリア若葉」外のオープンテラスは広々とした開放感があってくつろぎのひとときを演出してくれる。

始め、お互いの新店舗を中心に見学を行い、それぞれの大学ですすめている教職員委員会の活動と組合員の要望に応えられるお店づくりや店舗運営を学ぶ合うところから始まりました。2004年には東大生協教職員委員会の参加があり、2005年は、北大、秋田大(書面参加)、東大、名大、京大、広島大の6大学と京滋・奈良地域センターの参加があり、教職員委員会活動のより大きな交流の輪となりました。

今年度は、東大生協教職員委員会が担当し、PFI事業により建設された東京大学コミュニケーション・プラザにて、日常的に活動している(またこれから進めようとしている)教職員(委員会)の活動交流会が開催されました。今回は北大1名、東大10名、名大6名、京大9名、阪大2名、広島大1名の計30名の教職員、生協職員が参加しました。

名古屋駅を8時58分発「ひか

り」で東京駅に到着し、渋谷から京王井の頭線で駒場東大前に12時ごろ着きました。まさに正門正面に駅があり驚きました。新しく完成したコミュニケーション・プラザ内の生協食堂にて昼食を済ませ13時に交流会会場に集合し、開会挨拶の後、駒場キャンパス、特にPFI事業として建てられたコミュニケーション・プラザを中心に見学しました。食堂は1階カフェテリア若葉が550席、2階ダイニング銀杏(いちよう)が500席と大きくて明るく、食事も美味しかった

だきました。3階は教職員用の交流ラウンジでミーティングやパーティに利用されていて、本交流会の懇親会場でもありました。購買は名大生協北部購買の全面改装に取って参考になりました。書籍は通路が広く取ってあり、また、先生の要望で椅子が用意されています。立ち読みはだめだが、座って読むのはOKだそうです。中庭を挟んだ対面が駒場図書館になっていました。外に食堂南側にカフェと東側に和館があり、クラブ・サークルなどの親睦会や合宿に利用されています。

14時から北館2階多目的教

資料を広げて東大のPFI事業の説明に聞き入る参加者。



室にて交流会がはじまり、「PFI事業における厚生施設の運営」について流田東大生協専務補佐から報告があり、いろいろと制約がある中でオープン後1ヶ月半の状況が説明されましたが、なかなか理解が難しくこれについては各大学から多くの質問が出されました。その後、阪大、北大、広島大、京大、名大、東大と各大学の動きと組織委員会の活動が紹介され、交流

大沢東大委員長（右）と安田講堂前にて



を深めました。どの大学も教職員の参加の確保が難しくなっている状況で今後も地道な活動が重要と思いました。17時30分から会場を南館3階交流ラウンジに移動して夕食懇親会があり、ざつくばらんに懇親を深めました。来年は広島大で行うことを予定し、19時半に終了しました。そのあと、駒場東大前から宿泊先の渋谷に行き帰宅組とはここで別れて、宿泊組と東大の委員会と釜焚ごはんとすみび焼「火の音水の音」にてさらに懇親しました。

翌日は明治神宮前から東京メトロで本郷3丁目まで行き、東大本郷赤門にて10時半に集合して、大沢東大生協教職員委員長によりオブションで企画された

東大本郷キャンパスの見学に参加しました。昼過ぎまで学内の銅像と業者（ローソン、スターバックス、サブウェイ）と生協のお店（御殿下店、安田講堂店）を見学しました。安田講堂下の生協食堂にて昼食をとり13時半に解散しました。医学部や病院が一緒になっているとはいえ、名古屋大学とは比較にならないくらい規模が大きく、食堂や購買には日曜日で雨でもお客さんが結構来ていました。付き合っていたいただいた大沢さんにお礼を言いつて本郷3丁目から東京メトロで東京駅へ向かい、東京駅からのぞみに乗って名古屋に17時頃帰名しました。

今後、メールなどで連絡を取り合い、情報交換と店舗見学などを相互に行いながら名古屋大学の店舗運営・改善の参考にしていきたいと思っています。また、大学からのアウトソーシングの受託、PFI事業や施設運営への検討など学生・教職員の要望をもとに、厚生施設の充実に向けて大学への提案の強化を図っていききたいと思っています。

12月度理事会報告

12月11日16時から第二回読書マラソン表彰式と懇談会がフレンドリー南部食堂ホールに於いて行われました。懇談会終了後、19時15分より、同会場にて12月度理事会が開催されました。

決定事項

- 1、名古屋大学全学同窓会支援会費納入の件
名古屋大学同窓会の支援法人会員として昨年度同様一口5万円を寄付します。
- 2、第79回総代会開催日程に関して
2007年5月25日（金）午後5時から南部食堂ホールにて開催します。

協議事項

- 1、北部厚生会館1階改装計画検討に関して
北部厚生会館1階の店舗をキャンパスコンビニエンス商品を充実させたお店に全面改装します。新しくベーカーリー工房を設置し焼きたてパンを販売します。改装にかかる期間は2週間程度で8月から9月にかけて実施いたします。今後、組合員アンケート調査を行ってどんな機能、どんな商品がほしいかなどを集約し、改装プロジェクトで検討していきます。改装、レイアウト、

商品構成など要望をお寄せください。

2、2007年新学期（学年歴）の対応の準備状況に関して
豊田講堂が改修工事に入る関係で今年の入学式は4月5日愛知県体育館で行われることになりました。生協ガイダンスの持ち方など制約された中での効率的な運営の検討と大学にお願いすることと生協で準備することが提案されました。また、クラス写真撮影場所の変更提案もされました。

3、2007年度事業方針検討に関して
今井専務から2007年度の大学の変化と生協の事業活動の重点について北部の営業時間見直し、南部地区の土曜営業など各地区毎の方針案とIC学生証でのポストペイ決済システムの準備など新規事業対応が提案されました。

報告事項

11月度決算は全ての分野で供給予算を割り累計で1億円の予算割れとなり厳しい状況が続いています。特に購買部での予算割れが大きく校費利用の減少が影響しています。各組織委員会からの活動報告があり、3月までの理事会開催日程が提案され、20時45分に閉会しました。

東海地域センター教職員セミナー・12月2日 13大学生協教職員理事が県大に集う

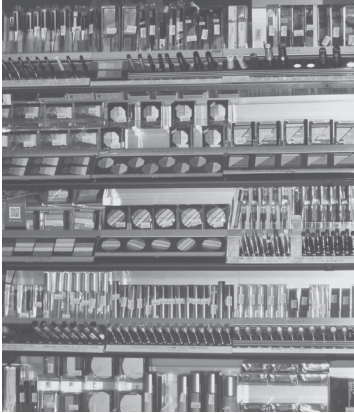


年に2回行われている東海地域センターの教職員セミナーが12月2日(土)開催されました。今回は、長久手に移転して8年目で、今年初めて生協の店舗を改修した愛知県立大学が会場でした。

昨年開かれた「愛・地球博」の会場に近い長久手キャンパスにある生協食堂で、午前11時から長尾専務から県大生協の店舗と学生の利用についての話を伺い、新装して明るくなった購買、書籍、サービスのお店を見学しました。食堂で昼食の後、会議室に移動し13時30分からセミナーが開始されました。

最初に、佐々木雄太学長(元名大副総長)から、公立大学の

女子学生が多いとコスメも充実



法人化に向けての動きが、行政主導で、大学教育の特性を無視した行財政改革の一環として行おうとする流れからいかに引き戻すかというせめぎ合いの攻防を、生々しく語られました。中でも、国立大学の経験では、文科省を相手に意見をたたかわせてきたが、公立大学では、始めに行革ありきで進められる大学改革において、直接自治体の知事、議会とたたかう上で、文科省の方針が盾となる場面があり助かったという話には、参加者から驚きともとれるため息がもれました。また大学の事務という特性を知らずに異動してくる県職員の学生サービスが悪いという話では、大学の事務に精通した職員の重要性を改めて考えさせられました。

06年12月 大学生協東海地域センター

理事長・教職員セ



県大の現状を報告された佐々木県大学長

状況や取り組み、大学生協連のビジョンとアクションプランなどが話し合われました。18時からは大協氏が店長を務める県大生協食堂のコンパコナーにおいて懇親会が開催され、美味しいコンパ料理を賞味しながら楽しく懇談し、19時30分に閉会しました。

参加者は13大学生協&東海地域センター・事業連合、合わせて34人、名大からの参加者は星野副理事長、箕浦、皆川、河合、松岡、柴田の6人が参加しました。(文・柴田敏之)

新フィールド・ノート ―その98― ヤンガードリアス期

情報科学研究科 広木詔三

昨年は鏡ヶ池の桜並木の紅葉が十一月の半ば過ぎまで見ることが出来た。例年より一週間から十日ほど延びた感じだ。ソメイヨシノの葉は秋の早い時期には、はやくも散ってしまうものだ。比較的暖かい日が続くなかにも、ときおり寒い日が出てくる。その寒さのなかでも、鏡ヶ池の並木は深紅の葉に輝いていた。名古屋市内の各地のソメイヨシノの葉はみないつもの年より紅く映えていた。

地球温暖化の危険性は一九八十年代には指摘されていたのだ。だが、地球の平均気温を求めることはなかなか困難をきわめ、実際に気温が上昇していると認められるようになったのは比較的最近のことだ。しかしながら、気温の測定そのものも正確さを期するのはなかなか困難で、都市気温の上昇とは区別しなければならな

い。それでもおおよそ $0.6^{\circ}\text{C}/100$ 年という値が最近見積もられた。温暖化によって高緯度地方の方が気温の上昇が激しいと考えられている。高緯度地方の凍土が融解すると、土壌中のメタンガスが解き放たれて、温暖化の正のフィードバックが働き、温暖化が加速される可能性もはやくから指摘されていた。

最新の研究成果でも仮説的段階であることは免れないが、最近の異常気象と対流圏の不安定化との関連が解明されつつある。太陽からの光エネルギーで暖められた赤道付近の海水が蒸発し、その一部は偏西風となる。上空ではジェット気流として高速で東へ向かう。温暖化によってこのジェット気流が分断され、従来とは異なる気象が一定期間継続して生じるといふ。二〇〇五年には、あの有名なカトリーナを含めて三つのハリ

ケーンがアメリカを襲ったが、熱力学的なメカニズムによるこのようなハリケーンの発生に関する研究も始まっている。

興味深いことに、温暖化が進むと、一時的にはヨーロッパが寒冷化する可能性が指摘されている。太平洋から大西洋にまたがって深い海の底を流れる深層海流の存在が知られているが、温暖化によってこの深層海流の流れが断ち切れると、熱帯から運ばれている海水が供給されなくなるので、ヨーロッパ近海は寒冷化してしまうというのである。このことを池内了氏は『転回期の科学を読む辞典』の中で、パラドックスと称した。その詳しい話は、ブルーバックスの『謎解き・海洋と大気の物理』に載っている。花粉分析の分野で今から一万年以上も前に、最終氷期から温暖化が始まる過程で、およそ一〇〇〇年ほど寒冷な時期が出現したことが知られていた。この時期はヤンガードリアス期と呼ばれている。この時期の寒冷化の現象は上記の深層海流の動きと関連があるのではないかと言われている。

ところで、産業による化石

燃料の消費の増大に歯止めをかけようという世界的な動きがある。

一九九二年に、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで地球サミットが開催され、そのとき気候変動枠組み条約が提案された。この条約は一九九七年に京都で合意にいたり、アメリカが離脱するという紆余曲折を経てようやく二〇〇五年に発効した。世界的に産業界の巻き返して、温暖化は間違いだとう反論も多いが、もはや否定できない事実と言えよう。科学的な真実はさまざまな反論を受けながらも、新たな事実の積み重ねによって洗練されていくものだ。ただ、複雑な自然現象は、簡単に因果関係を定められないので、近年の大型の台風とかアメリカのハリケーンが直接地球温暖化によるものだとはまだ今のところ断定できないようだ。しかし、その蓋然性は高いと言えよう。

地球の温暖化現象は、私の研究対象として森の動態にも大きく関わっている。しかしながら、種の分布拡大や縮小の問題はようやく気づかれたという段階である。

スポーツクラブと

時間の拘束

昨年名古屋大学のホームカミングデー(2006.9.30)の催しの一つに「運動部同窓生と現役学生との交流会」というのがあった。今、各界で活躍中のOBの話を中心にした催しであり、随分な盛況だった。

色々得るところがあったが、その中でも質問に答える形だったと思うが、「R東海社長の松本正之氏(陸上競技部出身)が勉強と練習のことに關して、スポーツクラブに所属している限り、時間的拘束は当然であって、その中でいかに時間を見出していくかが各自の工夫だという趣旨のことを言われた。まさにその通りだと思う。質問者の言いたかったのは、多分、他の趣味もアルバイトも共存してうまくできる方法はないかということを知りたい方法はないかと思うが、そんないい方法はないと一喝されたようなものだ。

クラブにも依るのだろうが、当日出席されたOBの方々の内、山岳部出身の清水哲太氏などは、殆ど山に行っているのが学生生活だったと言われた。今の制度の中で両立させていくのは難しからうと思う。それからぬか、今山岳部は休部になってしまっている。

大学でのスポーツクラブはや

お茶する

NHKの言葉の問題を取り上げる番組で、「お茶する」というサ変動詞を取り上げていた。古来日本語ではこのサ変動詞の問題は尽きぬ話題を提供している。この番組で、動作性を含む名詞はサ変動詞化するのに問題ないと言っていた。大方はそれ

はり学業と両立しなければならまいと思う。中には、その競技で好成績を上げることによりプロに転向するというのもまれには有ろうが、それを望めるのはよほどの天才だろう。

時間的余裕のない中でいかに時間を有効に使っていくか、大切な問題である。世の中一般、何か用を頼むときは忙しい人に頼めと言う。これも時間の有効利用を知っている人だからだろう。人それぞれに等しく一日は24時間である。それをどう使っているか、じっくり考えてみようではないか。

(T)

でいいと思うが、要はその動作性どのように取るかが問題である。「勝利」は勝つということであるから、簡単にサ変動詞化しそうなものだが、そうは行かない。現在かなり違和感なく使われるようになってきているが、この歴史は浅い。きちんと

調べたわけではないが、中国の文化大革命頃からの使用であると思う。このころ盛んに「勝利する」と使われ、當時は強い違和感を持ったものである。

科学するとか哲学するということサ変動詞が、第2次世界大戦前に使われて當時物議を醸したことは有名である。今でも日常には使いにくい。特定の文脈でのみ有効なものだろうが、とにかくこういう用法もあるのである。こういうものは他に言い換えようがない。しかし、ごく普通の名詞をサ変動詞化する場合、その名詞自体が「する」の目的語になっているようなものや、適当な動詞を使えば良いところを「する」が代行している、いわば代動詞のような働きをすることがあるのである。一時はやった「タバコする」などは、「タバコをすう」と音の近いことも狙ったものであったかも知れないが、まさに代動詞である。標題の「お茶する」も特定の動詞を使つて端的に言わず、却つていろいろなニュアンスを含めて用いたものと言うことが出来るのである。

「この頃は「元氣してますか」「はい、元氣してます」など、平気で言う。NHKの感覚ではどうなのか知らないが、もう、20年以上も前から、「元機してますか」などという看板が

おさがわがせしました

「世間をおさがわがせしましたことをお詫びいたします」

最近聞き飽きた言葉だ。日銀の福井総裁が村上ファンドに出資していたこと、そして、ゼロ金利解除直前に解約したことに對する世論の反発に對しての弁明でも、盛んにこの言葉を連発した。

ところが何度聞いても、私には「おさがわせした」と聞こえた。それでもなんと言うことな、く通じるからいいものの、奇妙な感じにとりつかれた。氣になり出すとどうにも仕方がない。ただ、これに似た現象はちよくよくある。高校生の頃、英語の先生だったが、「分福茶金」のことを話してくれた。

出ている。今もある。自動車整備の店の案内板である。普通にはちよつと使いにくいだが、こういう臨時的な使い方も出来るのが、この「する」の一大特徴だろう。(下)

その時、先生はかならず「ちやまが」と言った。「ちやがま」じゃないかと言つても、頑として「ちやまが」と言い張つた。

高齢者を尊敬する社会

今の日本、とてもこういう社会とは思えない。年寄りや遠慮して何も言うな、と言うように年寄り自身が萎縮してしまつてゐる。たとえばこんなふうにある。「歳をとつたら出しゃばらず、陰でこそ愚痴言わず、泣き言一切申しません。他人のことはほめあげて、聞かれりや

その後もよく聞いたから、そうなのかも知れないと思つてしまった。この頃あまり聞かないが、月末のことを年寄りは「つもご」と言つた。「つきごもり」から「つごもり」となり、「つもごり」とひっくり返つて、「つもご」と短縮されたのだ。

母は名古屋弁の大家だった、と言つのも変だが、かなり微妙な表現も名古屋弁で難なくした。名古屋弁とは関係ないかも知れないが、「血眼になつて探す」というのをいつも「ちなまこになつて」と言つていた。(下)

教えてあげなはれ。知つてることでも知らんふり、いつでもあほでいるこつちや」などという歌がもてはやされてゐる。何も、そんなに遠慮することはない。高齢者が増えて医療費がかさむとか、介護費用が大変だとか、認知症がどうだとかこうだとか、高齢者を痛めつけるよう

な報道も多い。

現にそういうことがあることは確かだが、それは仕方ないことだ。今まで戦後一生懸命頑張つてほとんど無の状態から現在の日本の繁栄を作り出した人々なのだから、それに報いるのは当然だろう。

しかし、何よりも、その高齢の方々に是非頑張つてもらわなければ、日本社会の損失である。やがて、戦後のベビーブーム世代が定年退職を迎える。又、少子社会の到来である。労働力という言い方には抵抗を感じるが、蓄積されたノーハウでは非さらに世の中に貢献して欲しいものだし、仕事が無くなるとか何とか言わず、仕事を分け合い、活力を維持していききたいものだ。

それには、高齢者自身が自信を持ち、健康維持に十分意を用いて、社会を導いていつて欲しいと思う。中には、もう古くなつてしまつたこともあるが、現在の世の中の基礎になつてゐる物も多いと思う。高齢者を大切にする社会は、文化を大切に

(下)

ニュースに一喝！

災害までも食い物に

このたった二ヶ月で三人の知事が官製談合を指揮し、入札妨害とかいう罪名で逮捕起訴されている。いずれも、私は全く関係有りませんと言っていた舌の根が乾かないうちに、混乱を来した責任を取るとか、辞職勧告に従って知事を辞任し、その後色々な事実が発覚している。三人目の宮崎県知事などは、この夏の台風による災害復旧工事までも食い物にしているのである。何もかも談合の種でない物はないのである。

何だっけそうかも知れない。いつ何時何が起るかわからないのが世の中だ。それを何とか知りたいと思う。天気予報など日本人にとってはその一番に知る物かも知れない。このごろは時間まで当たることがあるかと思うと、まるつきりはずれることもあつて、どこまで信じていいやら。

今、東海沖大地震や、東南海沖地震、南海沖地震のことがやがまし。東海沖地震のことは

従来巧妙に隠されていたことが明るみに出るようになっただけなのである。だからこういう、

何時起るかわからない

談合事件が次々に起るのは、情けないことなのだが、一面慶賀すべき事なのである。

昔からこういう不正行為は必ずあつただろう。むしろ、役得とか何とか言つてほとんど公然でさえあつた。そういう事が許されなくなつたことは、そんなことがない方がいいに決まつているが、一歩前進であらう。これからも、関係者に頑張つて欲しいものである。

(田2006・12・23)

もういつから言われているのだろう。「何時起こつても不思議でない」と。やたら不安をあおる。その警告をよそに、10年前には阪神淡路大地震が起きた。いつも、天災は不意打ち。

昨年来の耐震強度偽装事件、事件の首謀者たちは、地震が起るまで気がつかなかったことにしておこうと談合していたらしい。どこからか漏れた。もう、大分風化してしまつている。アスベストの問題は、それを

吸い込んでから発病まで数十年という。我々もアスベストをいじつて遊んだことも、天井や梁に吹き付けられていたところにもいたこともある。いつか発病するかも知れない。

BSEにしても同じ事。原因物質を含んだ牛肉を食べてからその病気発症までやはり何十年かかるという。この病気は、牛肉を食べなくても、自然に100万人に一人の割合で居るのだそうだ。牛肉を一度も食べない人はまれだろうから、その区別はどうしてつけるのだろうか。

地球温暖化の現象は、なかなか難しい。この寒さもその現象の一端かも知れないというからややこしい。確かに、温暖化物質の放出でなくても、みんなが火をたけば全体暖まるような気がする。工場や発電所の煙を見ればそう思う。これも、何時どうなるか、色々予想を立てられるが、一体どうなるのか。

みんな悪い方向に向かつているような気がするときがあるし、そうでもないような気がするときもある。何時何が起こつてもいいようにしておかなければならないが、それが又難しい。

(田2006・12・22)

地名

このところずっと異常気象、一体正常気象というのがあるのかとさえ思われる。つゆ末期の豪雨は以前から普通だった。しかし、今年はそれが異常に長く、同じ所を集中的におそった。毎年、所を変えつつこういう事が起こる。

こんな集中豪雨という災害に見舞われた方々にはなんとお見舞いしていいか分からない。元の暮らしには戻れないでしょうね、という諦めにも似た悲痛な声を耳にする。人は、それまでの生活に郷愁を感じるものだ。決して、今よりよかつたいうのでなくともそうである。

今年は、この集中豪雨のニュースを聞きながら、その地名がいかに「水」に縁が深そうなことを思った。平生は水の豊かないいところなのだと思う。湧水町、いかにも涼しそうな所を思わせる。出水市、ずばり水と縁が深い。川内市にしても水とは切っても切れない。こういうところを豪雨はおそった。

地名には、その気候風土が反

映される。地形などを端的に表すことがある。それで、昔の人々は、これこれという地名の付いているところには家を建ててはいけないとか言っただけだ。それで未然に災害を防いだという。しかし、今や、そんなことは言っておれないと、昔なら人の住まないような所にも人が住み、結果的に酷い目に遭ってしまふ。亜炭鉱の跡とか、磨き砂を取ったあとなどで、危険は現実起こっている。

地名について、そこをなぜそのように呼ぶのか、という地名

語源に関する関心は、古事記の昔から強かった。その地名語源説話で言っていることが正しいかどうかはともかくとして、古くから人々が強い関心を示していた証拠である。地名に関する研究は多い。私は専門ではないが、興味はある。日本には、人名から出たものはほとんど無い。最近はそのような地名もぼつぼつ出てきているが、伝統的な日本の地名ではない。日本では、人名の方が、地名に由来することが多い。

(田 2006・8・2)

点字ブロックの上に

物を置くな

正確なことは覚えていないが、この二三日前に、視覚障害のある方々が、その切実な願いとして、街の中の点字ブロックの上に、自転車や車を置き、車を駐めたり、物を置いたり、その上に立ち止まって立ち話したりしないで欲しいという要望をしているという報道があった。

至極尤もな要望である。そんなこと言われなくても、これは、視覚に障害のある方々のための施設であり、それがつかえなかったら何にもならないのである。

ここにある。たとえば、名古屋駅前周辺を見てみると、主として自転車の放置は甚だしい。自転車置き場が作つてあるが、その外側にもう一列、どころか、三列、それもぐちゃぐちゃに置いている。中に置いたら最後とてもその自転車を取り出すのも難しからう。

時に、置き場以外の自転車を撤去しているが、数時間もすれば元の木阿弥。この撤去をたまにはなく、一月くらい、毎日毎日やったら、さしもの不法放置も無くなるのではないかと思うが、管理責任のある部署は及び腰、何もかも中途半端。

5メートル以上の幅のある歩道が、一人通れるかどうかという状態にさえ成る。特に酷いところは、自動車の駐車場の横、駐車場の管理人が居るが知らん顔、私も時にとでも見かねることがあるが、恐ろしくてそれをする注意できない。高校生が大半、高校のシールが貼つてあるから分かる。一度校長先生に見てもらいたい。分別盛りのおばさん達の放置も多い。

人の迷惑ということに対して想像力が働かないのであろうか。(田 2006・12・23)

11・12月号
の感想

明快な説明に興味深い

★植田健男先生の『教育基本法「改正」問題とは何か』は、この問題について実に論理的で明確に説明されており、私のような門外漢にとっても非常に興味深いものでした。シリーズのようですので、これからも楽しみにしております【だるまおとし】

教育基本法のことを学べました。

【ジュネス幸川】

次の選挙で意志を示そう

★改正教育基本法が2日前に成立しました。この法には多くの問題があると思いますが、現在の国会議員に投票した多くの国民がそれで良いというのですから、仕方ないですね。次の選挙で意志を示しましょう。

【JJJ】

日本でこんなことが

★日本でこんなことが起こっているのは面白いです。【呉垂娟】

問題が難しすぎです。

【オーウエン】

沖縄の記事よかった

★沖縄の旅の記事がよかったです。楽しそうでいいなと思いました。ニュースに一喝や魔言の記事も面白く、ためになります。

【熱気】

沖縄旅行の参考になった

★先週沖縄に行ってきたのですが、沖縄旅行の記事が参考になりました。

【四角菌】

ベル楽団にすぐ魅かれた

★踊る主婦ベル楽団の広告にもすごい魅かれました！

【とこと】

黙認する体質は改善すべき

★今月号に掲載されていた、教育基本法の中の「高校の単位偽装問題」、ニュースに一喝の「グレーゾーン金利」は本質的に同じ問題があると思います。どちらも誰もが不正であることを知りながら黙認してきたことです。これ以外にもこのようなケースはたくさんありますが、このような都合のいい曖昧さを黙認する体質はいい加減に改善されるべきだと思います【えと】

魔言が気に入った

★初めてこの冊子を知りました。内容は意外としつかりとした読み物であることに正直驚きました。魔言の部分が特に気に入ったので今度の冊子が出るのを楽しみにしています。【ジージ】

質問するようにしよう

★「わかる授業、授業をわかる」でT先生が述べられていた『授業中にその場で質問せよ』とのことですが、もう少し話を聞いたら分かるかもしれない、もう少しよく考えたら分かるかもしれないと思うとなかなかすぐには聞けないものです。しかし、やはりT先生もおっしゃっていただいたように分からないままにして授業の残りの時間を過ごすのはとてももったいない事なので、私はなるべく質問するように心がけるようにしています。

【玉木一郎】

上映会観に行きたい

★dvd上映会、みにいきたいです。

【うええ】

すばらしいかけはしだ

★毎月思うのですが、この雑誌は教職員、生協、学生をつなぐすばらしいかけはしになる内容でした。

【ホッケーマン】

お店をよくするために

★第1回総代会議報告を読んだ、お店を良くするために色々な話し合いがされていることが分かって良かったです。またどの様な話し合いがされたか載せてほしいです。

【加藤】

意見と通信

答えはイベントとリンク

★先週号の答えもイベントとリンクしていたようですが、今週号もそうでしたね。最初は、絵が出てきて『鈴』？程度にしか思わなかったのが、8ページの記事で正式名称(のうま)検索で、ミュージックベルでは143,000件、メロディーベルでは17,900件でした【四角菌】だと、理解できました。

先生の一日について。

【オーウエン】

知的な紙面に期待する

★知的な誌面づくりを期待いたします。

【だるまおとし】

名大生協



「かけはし」編集委員会行

.....山.....折.....り.....

○氏 名_____ 組合員証番号_____

○所 属_____ 研究科
学部
センター _____ 専攻・課
学科・掛 (教職員・院生)

○連絡先_____ 内線_____

○誌上匿名希望の方はペンネーム_____

.....山.....折.....り.....

- ①平和憲章制定 20 周年企画「男たちの大和」上映会【2月5日(月)】
- ②初心&初級スキー教室&スキーツアー【2月9日(金)夜発～12日(月)】
- ③ミステリー酒蔵見学ツアー【2月24日(土)】

参加申込用紙

番号	氏 名	所 属	内 線	年 齢	組合員証番号

②、③につきましては保険加入の関係で年齢が必要ですので必ずご記入ください。

_____ アンケートに _____
_____ ご協力願います。 _____

第 269 号

クイズのこたえ _____

☆今月号を読ん
での感想

☆記事にしてほしいこと。生協へのご
意見やみなさんからの通信をぜひ。

COOP クイズへの応募、アンケートの回答は、<http://kyoshoku.coop.nagoya-u.ac.jp/kakehashi/answer.html> から送信できます。また、e-mail: kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp でも受け付けます。必要事項をもれなく記入してください。

CO-OP QUIZ

No. 269
2007月1・2月号

縦と横に書かれた数字にしたがってマス
をうめていくと絵（または文字）が現
れます。それは何でしょう。（ヒント＝毎
年お決まりですが）今回の問題は読者の
小田切さんの出題です。投稿ありがとう
ございました。

クイズが解けたらぜひ応募してくださ
い。クイズの嫌いな方は、ご意見だけ
でも歓迎します。

前回の正解は「ミュージックベル」（の
つもりで作りました。ハンドベルなどベ
ル関係は全て正解としました。）でした。
解き方がまだわからない方は、解答の絵
の数字と黒マスの関係をよく見てくださ
い。

あなたも Logic の問題を創作（出題）
してみませんか。問題の投稿も歓迎しま
す。手描きでもOK。

採用の方には図書カードを進呈。



		2	2					2		
2	2	3	6	4	5	4	2	2	2	2
1	2	3	3	4	3	3	3	2	1	
1	1	1	2	3	3	3	5	3	2	1

			2							
			2							
			11							
			11							
			3							
			3	2						
			3	3						
			7							
			3	3						
			3	3						
			3	3						
			3	3						
			3	5						
			3	4						
			5	4						

前回の
問題

				1	1	2				
		1	2	1	1	1	1	1	2	3
	3	1	1	2	4	6	2	2	3	3
4	3	2	2	1	1	1	1	1	1	4

			2							
			3							
			3							
			6							
			5	2						
			3	2						
			1	1						
			9	1						
			1	1	2	2				
			1	2	1	1				
			2	4	2	1				
			1	4	4					
			2	2	3					
			2	2						
			9							

応募要項

- 締め切りは2月17日
- 発表は本誌、3・4月号
- 正解者（但し、①組合員
②当選後ご加入も可、③
意見・感想記入者）の中
から、抽選で5人の方に
図書カードをさしあげま
す。
- 生協への意見・要望をど
しどしお寄せ下さい。

第268号の当選者

- ・応募総数 ……15人
 - ・正解者数 ……15人
 - ・当選者（敬称略）
 - 安井幸夫（理学研究科）
 - 木村大至（工学研究科）
 - 朝倉榮次（工学研究科）
 - 上山達也（生命農学研究科）
 - 呉 亜娟（生命農学研究科）
- 以上の5人の方に図書カードを
お送りします。

名古屋大学平和憲章 (1987.2.5 制定)

わが国は、軍国主義とファシズムによる侵略戦争への反省と、ヒロシマ・ナガサキの原爆被害をはじめとする悲惨な体験から、戦争と戦力を放棄し、平和のうちに生存する権利を確認して、日本国憲法を制定した。

わが国の大学は、過去の侵略戦争において、戦争を科学的な見地から批判し続けることができなかった。むしろ大学は、戦争を肯定する学問を生みだし、軍事技術の開発にも深くかかわり、さらに、多くの学生を戦場に送りだした。こうした過去への反省から、戦後、大学は、「真理と平和を希求する人間の育成」を教育の基本とし、戦争遂行に加担するというあやまちを二度とくりかえさない決意をかためてきた。

しかし、今日、核軍拡競争は際限なく続けられ、核戦争の危険性が一層高まり、その結果、人類は共滅の危機を迎えている。核兵器をはじめとする非人道的兵器のすみやかな廃絶と全般的な軍縮の推進は、人類共通の課題である。

加えて、節度を欠いた生産活動によって資源が浪費され、地球の規模での環境破壊や資源の涸渇が問題となっている。しかも、この地球上において、いまなお多くの人々が深刻な飢餓と貧困にさらされており、地域のおよび社会的不平等も拡大している。「物質的な豊かさ」をそなえるようになったわが国でも、その反面の「心の貧しさ」に深い自戒と反省がせまられている。戦争のない、物質的にも精神的にも豊かで平和な社会の建設が、切に求められている。

今、人類がみずからの生み出したものによって絶滅するかもしれないという危機的状况に直面して、われわれ大学人は、過去への反省をもふまえて、いったい何をなすべきか、何をしょうか、鋭く問われている。

大学は、政治的権力や世俗的権威から独立して、人類の立場において学問に専心し、人間の精神と英知をになうことによってこそ、最高の学府をもってみずからを任じることができよう。人間を生かし、その未来をひらく可能性が、人間の精神と英知に求められるとすれば、大学は、平和の創造の場として、また人類の未来をきりひらく場として、その任務をすすんで負わなければならない。

われわれは、世界の平和と人類の福祉を志向する学問研究に従い、主体的に学び、平和な社会の建設に貢献する有能な働き手となることをめざす。

名古屋大学は、自由闊達で清新な学風、大学の管理運営への全構成員の自覚的参加と自治、各学問分野の協力と調和ある発展への志向という誇るべき伝統を築いてきた。このようなすぐれた伝統を継承し、発展させるとともに、大学の社会的責任を深く自覚し、平和の創造に貢献する大学をめざして、ここに名古屋大学平和憲章を全構成員の名において制定する。(前文より)

名古屋大学消費生活協同組合

☎ <052>781-1111 (内線 7540)

- 書籍(和書・洋書・雑誌)に関するご相談は
北部書籍(内線 7544) 南部書籍(内線 7551)
医学部書籍(内線 5208) 大幸書籍(内線 5552)
- 文具・事務用品に関するご相談は
北部購買(内線 7542) 南部購買(内線 7549)
医学部購買(内線 5209) 大幸購買(内線 5552)
農学部購買(内線 7557)
- レストラン「花の木」(内線 7605)
- 旅行(国内・海外)・宿泊に関するご相談は
北部旅行・サービスセンター(内線 7543)
南部旅行・サービスセンター(内線 7550)
医学部旅行・サービスセンター(内線 5213)
- 印刷とネットワークに関するご相談は
印刷・情報サービス部(内線 7552)
- パーティー料理・弁当に関するご相談は
弁当部(内線 7553) 理系食堂(内線 7555)